

合志市総合計画進行管理 【合志市総合政策審議会意見・指摘事項】

1 市民参画によるまちづくりの推進

【こどもや若い世代も参加しやすい仕組みを整え、自治会以外のつながりも見える形にすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・自治会活動、イベントにこどもが参加しやすいような働きかけをすること。
- ・自治会加入のためのマンガ冊子を作成して配布すること。
- ・自治会以外の地域で活動する団体の周知方法を検討すること。

【親子で選挙について学べる機会の創出や、議会ホームページの見やすさ向上と情報量の増加に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・選挙への関心を高めるため、親子で参加できる“まちづくり選挙講座”の実施を検討すること。
- ・議会ホームページを充実させること。(情報量・見やすさ)

【「まちづくり」について市民が知る機会を提供し、補助金情報などを分かりやすく周知すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・“まちづくり”とは何か知る機会が欲しい。
- ・補助金・助成金の情報を集約・充実させること。
- ・指標の見直しを行うこと。(ホームページの閲覧数だけでなく LINE などを含める、成果を指標とする、など)

2 行政改革の推進・改革

【DX 推進により、市民サービスの質の向上と職員の負担軽減を実現すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・DX の推進を行うこと。
- ・デジタル化で市民サービスの向上と、職員の負担軽減を行うこと。
- ・生成A I の導入や実証実験に取り組み、市民サービスの向上及び市職員の業務効率化に努めること。
- ・生成A I 等最先端技術を活用するにあたり適切なガイドラインを整備し、活用する人材育成に努めること。

【公共施設の今後の必要性や維持管理費を踏まえ、建設・更新計画の見直しを進めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・公共施設の管理費用などを考え、長期的に必要なか考えること。
- ・公共施設の駐車場整備を行うこと。

【職員がいきいきと働けるよう、業務の見直しや勤務環境の整備、開閉庁時間の見直しを検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・職員がいきいきと働けるよう研修や環境整備を行うこと。
- ・職員の業務棚卸を行うこと。
- ・職員の働きやすさの見える化を行うこと。
- ・開庁時間の短縮を実施し、前後の時間は職員の準備や整理に充てられるようにすること。

3 持続可能な財政運営

【計画的な財政運営を継続し、納税方法の多様化で収納率向上を図り、市民に還元する仕組みを強化すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・引き続き、計画的な財政運営を行うこと。
- ・様々な納税方法を可能にし、高い収納率を維持すること。
- ・増えた歳入を市民のために使える仕組みづくりを検討すること。

【建設費高騰の影響を考慮し、不要施設の見直しと将来を見据えた施設整備の計画を進めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・建設費の急騰を踏まえ、施設整備計画の見直しを行うこと。
- ・長期的な建設計画と同様に、不要施設の処分を検討すること。

【合志市独自の魅力を丁寧に発信し、安定したふるさと納税の寄附につなげること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ふるさと納税は過度に競争するのではなく、地道に行なっていく。
- ・外的要因に左右されない合志市の魅力づくりを行うこと。

4 地域福祉の推進

【担い手不足を解消するため、仕事と両立できる地域活動を提供するなどの工夫を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・仕事をしているのでなかなか地域の活動ができないのではないか。
- ・ボランティアや民生委員の担い手不足には、仕事をしながらボランティアなどの体験をしていく機会の提供が必要。
- ・小さなボランティアをしてもらうことで、これならできそうだと思うものが見えてくるのかも。この1つならできるという方もいるのかも、そういった取り組みをしてみてはどうか。

【各種相談先についての周知方法を工夫すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・自分が支援される側にまわる年齢になり、どこまで甘えられるかわからない。
- ・どの程度声掛けをしていいかわからない。
- ・支援したいと思っても声をかけてもその後どこに相談すればよいかわからない。
- ・どこに相談すればよいかわからない。

5 こども・子育て支援の充実

【保育園入所の基準（ポイント制）について、市民の意見を取り入れた見直しを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・兄弟姉妹で違う保育園に通うことへの対応はできないのか。
- ・入園希望をする保育園に入れないとよく聞くため、第一希望の保育園にはポイントを追加できないのか。
- ・保育園入所の基準（ポイント制）を変更できないのか。

【保育現場の人手不足について、市も一体となって解消に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・放課後児童クラブの児童数が増えてきており、職員が不足している。
- ・保育士不足している。

6 健康づくりの推進

【各種検診や健康に関する活動に対してポイントを付与するなど、取り組み内容を工夫すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・高齢者の単身世帯の栄養状態が心配。
- ・地域の活動や検診を受けるといったポイントをもたらえるなどをすると若者も検診等に興味を持つのではないか。

7 高齢者の自立と支援体制の充実

【誰もが参加できるイベントを開催し、地域住民など多様な人々が交流できる場を提供すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・市民誰もが参加できるイベントを開催してはどうか。
- ・老人会などは最初から加入しないのではなく、まずは加入してから考えてもらいたい。
- ・高齢者とこどもがふれあう機会が少ない。

【通いの場の活動内容や場所が高齢者に十分伝わっていないため、周知方法を工夫すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・通いの場の活動内容や活動場所がわからない。
- ・MAPがあっても高齢者には伝わっていない。
- ・活動内容は興味をひく内容にしてはどうか。

8 障がい者（児）の自立と社会参加の促進

【様々な特性に対する正しい理解を広げるための啓発活動を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・支援が必要な子の保護者への啓発。
- ・発達障がいへの正しい理解。
- ・療育につなぐまでの支援がほしい。

【障がい者の社会参加の機会を増やすため、スポーツを取り入れた誰でも参加できるイベントを企画すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・障がい者の社会参加の機会を増やす。
- ・スポーツを結び付けた誰でも参加できるイベントを企画すること。

9 義務教育の充実

【多様化する社会に対応した学びを保障するために、適切な学習環境を整えること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・デジタル社会と上手に付き合っていくための学びの場を創出すること。
- ・専門知識を習得するための時間を増やすこと。
- ・多様な生徒に対応した適切な学習環境の整備を行うこと。
- ・学校教育活動指導員、教育介護補助員の適正配置（増員）をすること。

【教員不足解消に向けた教員の勤務環境の見直しを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・教員が教材研究を行う時間を確保するため、働き方改革の推進を行うこと。
- ・児童の学びの機会を保障するため、教員の確保に向けた取り組みを行うこと。
- ・教員になりたいと思ってもらえるような取組の推進を行うこと。(小学生～大学生向け)

10 生涯学習の推進

【より多くの市民に参加してもらえるようにイベントや講座の周知方法を工夫すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・市民講座等の新たな参加者の掘り起こしのため周知方法を工夫すること
- ・イベントや講座の内容に応じた、周知方法を検討すること。

【イベントや講座等の内容の充実を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・市民が参加したいと思えるイベントを企画すること。
- ・参加しやすい日程、場所でのイベントを企画すること。
- ・子どもたちが合志市の文化、自然、良さなどを勉強し、合志市に住み続けたいと思えるようなイベント、講座について検討を行うこと。

11 生涯スポーツの推進

【スポーツを通じた交流を行い、スポーツの普及促進を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・スポーツの指導者に対する待遇の見直しを検討すること。
- ・自治会や地区の各種団体内でのスポーツを通じた交流を促進すること。
- ・誰もが参加しやすい日程でのスポーツイベントの開催を検討すること。
- ・スポーツ普及促進のため、スポーツ推進委員と連携した取り組みを行うこと。

【誰もが気軽にスポーツができる環境を整備すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・社会体育施設の適切な利用方法を周知すること。
- ・猛暑や自然災害時の利用も踏まえた社会体育施設の環境整備を行うこと。
- ・学童保育等でのスポーツの出前講座を実施すること。
- ・スポーツをするための設備等適切な環境を整備すること。

1 2 人権が尊重される社会づくり

【様々な世代に向け人権教育・啓発活動を実施し、市民の人権意識を高めていくこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・若年層だけでなく、幅広い世代への人権教育を実施すること。
- ・人権啓発行事へ初めて参加する市民を増やすための工夫を行うこと。
- ・より身近なところから人権意識を醸成していくためにマンガなどを通じた取組を行うこと。
- ・多文化共生に向けた相互理解を進めるための場を創出すること。

【SNSに関連した人権教育を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・SNSの正しい使い方を市民へ啓発し、誹謗中傷等を「させない」ような取組を行うこと。
- ・市内学校と連携し、小中学生向けにSNSの正しい使い方を学ぶ機会を設けること。

1 3 歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成

【伝統文化や歴史等を継承していくための仕組みづくりを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・地域の歴史・伝統・文化を継承していくための仕組みづくりを検討すること。
- ・各地域の伝統文化・行事等を継承する指導者不足や高齢化の影響を解消するため、伝統行事等を映像等デジタル媒体で記録すること。

【学校等と連携した郷土愛の醸成に向けた取り組みを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・学校と連携した地域の歴史・伝統・文化の学びの場を創出すること。
- ・小学生だけでなく、中学生にも郷土愛を育んでもらうための取組を行うこと。

1 4 防災・危機管理対策の推進

【防災士の認知度向上と人材拡大に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・防災士の認知度アップに取り組むこと。
- ・自主防災組織の拡充に努めること。
- ・防災士を若年層(小学生～)に広げ、さらに女性の増加(勧誘)に努めること。
- ・仕事をしながらでも防災士ができることを周知すること。

【消防団の役割の周知と人材確保に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・消防団の役割の再確認に取り組むこと。
- ・仕事をしながらでも消防団ができることを周知すること。
- ・消防団の仕事に誇りを持つような説明をすること。(メリットを求めるような人に対して)
- ・活動内容をSNSにアップすること。

1 5 防犯・交通安全対策の推進

【消費生活センターの認知度向上に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・消費生活センターの認知度向上に努めること。
- ・相談事例を動画にしてSNSにアップすること。
- ・出前講座を積極的に行うこと。

【事故防止につながる防犯カメラの導入を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・防犯カメラの設置を強化すること。
- ・各地区で防犯カメラの設置指針を作成すること。
- ・新規設置だけではなく、機器更新や補修も助成対象にできないか検討すること。

【通学路の安全確保に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・通り抜け禁止区間の周知を強化すること。
- ・企業に向けたゾーン30の周知をこれまで以上に強化すること。
- ・学校周辺の道路に注意喚起の表示をすること。
- ・過去の内水発生区域を明示すること。
- ・通勤ラッシュ時間の分散を促す施策を考えること。
- ・道路の信号機の設置と適正な管理に努めること。
- ・主要通学路に歩行者用の信号機を設置するよう努めること。

16 住環境の充実

【気候変動に対応した環境づくりをすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ゲリラ豪雨対策を検討すること。
- ・過去の内水発生区域を明示できるよう検討すること。

【空き家対策に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・地元自治会との連携により空き家の場所を把握すること。
- ・相続者を探し、連絡を取ること。
- ・終活セミナーを実施すること。
- ・空き家関連の解説動画やリノベーション動画を作成すること。

【計画的な公営住宅の整備に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・障がい者や高齢者が入居しやすい構造や仕組みを作ること。

17 水の保全・安全供給

【計画的に施設設備の維持管理を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・下水ポンプの自家発電への切り替えができると生活環境への影響が抑えられるため安心。
- ・計画的な施設管理、長寿命化計画の策定。
- ・地下埋設物の老朽化に伴う点検、調査を継続的に行うこと。

- ・キャパシティを超過した下水道の対策を検討すること。

【水質・水量の保全に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・半導体企業進出による水量への影響についてモニタリングを実施すること。
- ・工場建設に伴う水質汚染の防止。

18 廃棄物の抑制とリサイクルの推進

【より手軽にごみの出し方を確認できる方法の提供と、ごみ出しマナーを守る環境を整備すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ごみ出しルールをアプリにより周知すること。
- ・ごみ出しのルールや分類を市民に分かりやすく周知すること。
- ・ごみステーションに防犯カメラを設置する。(助成金や電気料金等補助の充実)
- ・ごみ袋に番号を記入するルールの最適化。(記号番号を各世帯に割り振る等)

【増えている外国人向けにも、より多くの言語及び時代に合った手法でごみの分別方法を周知すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・外国語表記の「ごみの出し方・分け方」をスマートフォンで見れるようにすること。
- ・ごみ出し方法をはじめとして、外国人転入者向けのWEB情報を充実させること。

【値上げに向けた検討プロセスを明示し、ごみ袋のバラ売りなど選択肢の拡大も検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ごみ袋1枚ずつのバラ売りを検討すること。
- ・ごみ袋値上げの検討プロセスを可視化すること。
- ・市内の民間資源物回収業者を調査し、収集数量を報告してもらうようにすること。

19 脱炭素・地球温暖化防止対策の推進

【自治体と市民が一体となって温室効果ガス削減を進めるための目標設定を行い、それに合わせた補助金等の拡充を検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・市役所だけでなく合志市全体の削減目標の設定を行うこと。
- ・温室効果ガス削減を市全体で取り組むうえで、補助金を増やすことを検討すること。

【市内事業所の温暖化対策の実態調査や情報交換を行い、市全体で環境配慮の取り組みを次のステージに進めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・事業所の温暖化対策の現状ヒアリングを行うこと。
- ・事業所へ環境配慮の働きかけを行うこと。
- ・廃車になったハイブリッド車やEV車の蓄電池を家庭で再利用できる方法を検討すること。

【2030年のCO2排出量50%削減目標の達成に向けて、新たな施策や具体的な行動計画を市民に示し、啓発していくこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・2030年までの目標をクリアするために再度取り組み内容を検討すること。
- ・公共施設の再エネの取り組みで、電球のLED化、EV車への入れ替えの次どのような取り組みを進めるか検討を進めること。
- ・今後の具体的な取り組みを示して市民に啓発すること。

20 計画的な土地利用の推進

【快適に過ごせるまちづくりのためバランスの取れた土地利用を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・国有地との地域開発のバランスをとること。
- ・御代志地区のまちづくりは合志市らしさを前面に出すこと。
- ・大型宅地開発の誘導とインフラ整備等のコストバランスを見ること。
- ・日常生活が快適に過ごせるまちづくりをめざすこと。
- ・公共交通の整備やシェアサイクルの導入を考えること。
- ・市全体の将来を見据えた長期的な視点を持って土地利用を行うこと。

【遊休農地を活用すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・農業活性化のため利益の出る農業の提案をすること。
- ・週末農業の場にする。
- ・遊休農地を利用していく姿を動画にしてSNSで発信すること。

2.1 計画的な道路の整備

【安心安全な通学路を整備すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・通学者の安全を第一に環境整備をすること。
- ・自転車通学や通勤利用者の安全を守るため、専用レーンを整備すること。
- ・通学路指定（侵入禁止）やゾーン30の整備をすること。
- ・雨天時に冠水・通行不能となる場所の整備をすること。

【安心安全な道路環境を整備すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・大型車が通る道の整備をすること。
- ・市民からの危険箇所等に関する情報提供を呼び掛けること。

【渋滞解消に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・国道387号線の渋滞対策を早急に進めること。
- ・中九州横断道路開通により期待される効果を示すこと。
- ・公共交通の利便性を発信すること。
- ・公共交通利用において、うえるこアプリを活用した施策を検討すること。
- ・バス専用レーンを整備すること。

2.2 公共交通の充実

【近隣市町、企業等と連携した公共交通の強化に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・企業からの通勤バスを出してほしい。
- ・近隣市町等との連携した新たな公共交通網の形成が必要。

【外国人も利用しやすい環境を整備すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・外国人にとって本市の公共交通が利用しやすいものになっているか検証すること。

【利用者の意見を多く取り入れ、よりよい交通ルートの検討を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・レターバスの運行ルートの見直しを行うこと。
- ・乗合タクシーの運行範囲の見直しを行うこと。
- ・御代志～セミコン間のバスの運行を再検討してほしい。
- ・光の森行きレターバスを増やしてほしい。
- ・乗合タクシーが毎日運行ではないため不便。
- ・利用者の意見を継続的に反映するための仕組みを整えること。
- ・ホームページから意見を投稿できる仕組みを充実させること。

2 3 農業の振興

【農家及び新規就農者への支援の拡充を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・気候変動に伴う資材補助を検討すること。
- ・農家が利用できる支援体制を充実させること。
- ・害獣対策費用の補助。
- ・新規就農者とのマッチングを実施すること。
- ・農業をやってみたいと思う人が気軽に相談できる窓口の設置を検討する。
- ・A Iなどの先端技術を活用した作物の管理により生産性の向上を図る取組を検討すること。

【農道、農地の計画的な整備を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・耕作放棄地の再利用方法を検討すること。
- ・道路整備に伴う農地、農道の整備を行うこと。

【6次産業化の支援を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・作物の利用について、農家と加工する人のマッチングの場を設ける必要がある。
- ・6次産業化の周知徹底が必要。

2 4 商工・観光業の振興

【観光地の創出に向けて、官民が連携した取組を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・合志市の目玉となる施設の検討を行うこと。
- ・コンサートなど大型イベントの誘致を行うこと。

- ・市の観光メニューを創出すること。
- ・稼げる観光づくりを行うこと。

【官民連携による交流人口の増加に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・交流人口を増加させる取り組みを継続的に行う。
- ・合志市独自の観光づくりに向けた民間との協議の場を確保すること。

2 5 企業誘致の促進と働く場の確保

【農家と加工業者のマッチングにより雇用の創出を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・農業者と加工業者とマッチング説明会を実施すること。
- ・定年退職者も安定して働けるような態勢を整える。

【・農地の保全と企業誘致の調和を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・農地の確保・保全と企業誘致のバランスをとること。